

美しい心と強い体でよく考え夢と目標を実現する子

かしこい子 あたたかい子 たくましい子



知風

小熊小学校学校だより
第3号
令和3年6月18日



日常生活の充実

前期の中間となる6月、新型コロナウイルス感染予防のため、運動会や地域との交流活動を行うことはできませんでした。そのため、授業・挨拶・掃除など日常生活の充実がそのまま安心安全な生活につながると考え、6月1日から挨拶ボランティア（～25日）とチャレンジスポーツの取組（～29日）を行っています。

挨拶ボランティアの取組を主催した企画委員の目標を紹介します。

あいさつボランティアに参加する人を増やし、その人たちに反応して、元気にあいさつできる学校を目指す。

チャレンジスポーツについては、

学級の目標回数達成のために、学級の仲間と声をかけ合い、協力して活動する。 です。

現在、挨拶ボランティアの取組により「にこ自慢」の一つ「挨拶」がさらに磨かれていると感じています。

また、6月4日の研究授業（5年算数）では、講師の先生から次のような感想がありました。「生き生きとタブレットを使って活動する姿やお互いに学び合う形ができていました。また、クラス全体の雰囲気学びに向かっており、個々のやる気も増していると感じました。」授業の頑張りを認めていただけたようです。

9月～11月に、運動会、宿泊研修が行われます。よい行事にするには、授業や掃除、挨拶など日常生活がそのまま活動の充実につながると考えています。ご家庭でも、一日一日の生活を大事にするよう、お話をいただければ幸いです。

校長 番 美智雄

《5月の行事や活動》

○さつまいもの苗植えと観察

毎年、1、2年生が、東小熊の南谷さんの畑で、さつまいもを育て、収穫をさせていただいています。今年も、苗植えをさせていただきました。南谷さんをはじめ、老人クラブの方や地域の方々が多く来てくださり、広い畑いっぱい植えることができました。先日、1、2年生が成長したさつまいもの様子を観察しに行きました。今から、秋の収穫を楽しみにしています。

地域の方々に支えていただいているお陰で、子どもたちの豊かな体験や活動ができることに、心より感謝申し上げます。

あいさつボランティア

児童会の6月の活動として、「あいさつボランティア」の取組が行われています。毎朝、児童玄関で、「おはようございます。」の明るい声と笑顔の花が咲いています。日に日にボランティアであいさつ活動をする子が増え、一日のスタートが気持ちよくなっています。企画委員の子が、ボランティアの人数を放送で紹介したりと、小熊小「にこ自慢」を高めようとがんばっています。



○「チャレンジスポーツ in 岐阜」の取組

企画委員会・広報委員会・体育委員会がタイアップして、「チャレンジスポーツ in 岐阜」に参加することで、学級の団結力を高めようと、この取組を計画してくれました。種目は、「ボールパスラリー」といって、3分間1つのボールでキャッチボールを行い、連続回数の記録にチャレンジするものです。体育の授業や休み時間を使って練習をしています。県下の小学校がエントリーし、2月頃には、結果の発表があります。



○「たてわり遊び」が始まりました

今年も、たてわり班での「たてわり遊び」が始まりました。6年生が計画し、1年生から6年生までのグループで楽しく遊びます。この活動を通して、高学年のリーダーシップや互いを思いやる心が育つことを願っています。



○小熊小に「カイコ」がやってきました

校医さんから蚕を譲り受け、養護教諭と4年生で飼育を始めました。蚕の幼虫から繭、成虫（カイコガ）になるまで、毎日世話をして成長の様子を観察しました。繭から絹糸を巻き取る貴重な体験もしました。



《お知らせ》

- ・家庭学習グレードアップ週間の取組にご協力くださり、ありがとうございました。お家の方の毎日の見届けや励ましが、子供たちの自信と意欲につながっています。取組後もよろしくお願いします。
- ・新型コロナウイルス感染予防に加え、熱中症予防にも注意する必要があります。そこで、必要に応じて、保冷効果のある物（ネッククーラー等）を使用いただいても結構です。水筒は、屋外でも使用しますので、保冷効果のある物を持たせてくださるようお願いいたします。

